

トラフグの放流について、下記内容で大阪府を通じて令和4年7月1日に報道提供を行いました。

**栽培漁業センターで育ったトラフグの稚魚を大阪湾に放流！
大阪湾でのトラフグ漁獲量の回復をめざします**

(公財)大阪府漁業振興基金栽培事業場では、大阪湾の魚介類資源を増やすため、キジハタやトラフグなどの稚魚を生産し、自然の海に順応できる大きさにまで成長させて放流する「つくり育てる漁業(栽培漁業)」を推進しています。

このたび、トラフグの稚魚が放流に適した大きさに成長しましたので、下記により放流を行います。

記

- 1 放流対象種 トラフグ

- 2 放流尾数 16,000尾(サイズ:全長7cm)

- 3 放流日時・放流場所
 令和4年7月7日(木曜日) 11時00分から 堺市海とのふれあい広場
 令和4年7月8日(金曜日) 11時00分から 大阪北港マリーナ
 ※放流尾数は、各箇所につき約8,000尾です。

- 4 その他 中間育成および放流については、水産技術センターの技術指導を受けています。

(注)取材を希望される方は、事前に環農水研水産研究部水産支援グループ(電話番号072-495-5252)までご連絡ください。放流場所等の詳細について説明させていただきます。なお、当日の気象条件などにより、日程や放流方法を変更する場合があります。



放流するトラフグ稚魚



トラフグの放流風景